

川棚町観光施設運営あり方検討委員会（第2回）会議 報告書

日 時 令和4年2月3日（木）
14時00分～16時00分
場 所 Web会議

（次 第）

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 観光施設の維持管理について
- 4 次回委員会の開催日程について
- 5 その他
- 6 閉 会

【委員会概要】

（事務局から）

- ・ 前回（第1回）の各意見に対する課題整理
 - ①「秘密保持契約」について
 - ②「K P Iの設定」について
 - ③「ロードマップ」について
 - ④その他
 - ・ 連携による指定管理手法（長崎ロープウェイ等）
 - ・ 大崎半島における観光
 - ・ P R不足、ホームページの魅力不足

（委員からの意見等）

- ・ K P Iの設定の前にK G Iを設定して、町としての観光施設の活用方針を定める必要があるのではないか。
- ・ 通常のホテル経営と当該施設（くじゃく荘）との運営経営形態が違うため、比較できる同等程度の宿泊施設との比較が必要ではないか。
- ・ 川棚町の観光を俯瞰的に見た場合に、どういったところに注力することで川棚町観光の振興に良い影響が出るのか、その方向性、課題を見出す必要があるのではないか。
- ・ 川棚町が作成している公共施設等総合管理計画によると、施設としては経年による改修が今後予定されており、大規模改修の必要性も定められているが、施設としてのポテンシャルはあり、今後も観光施設としての有効活用は可能であるとのこと、ただし、それには相応な経済的な負担が必要であることと、町としての施設運営を行う場合は、それを現在の運営の中で賄うだけの事業収益とのバランスをどういうふうにとっていくのかの検討が必要があり、そのためのソフト面の検討が合わせて必要ではないか。
- ・ 川棚町として大崎半島における観光の意味、大崎半島をどういった空間にしていくなのかの整理、検討が必要ではないか。